

アクセス Access

● 横浜国立大学（常盤台キャンパス）

バス（横浜駅西口） ※キャンパス内へのバスの乗入れは平日のみ		
横浜市営バス	11番	202系統・循環外回り （横浜新道又は岡沢町下車）
	14番	201系統・循環内回り、 急行329系統横浜駅西口行 （岡沢町・横浜新道又はキャンパス内 各バス停*下車）
相鉄バス	9番	浜11系統・上星川駅行、釜台住宅第3行 （ひじりが丘又は釜台住宅第1・第2下車）
	10番	浜5系統・交通裁判所経由横浜駅西口行 （岡沢町下車） 浜10系統・横浜駅西口行 （岡沢町・横浜新道又はキャンパス内 各バス停*下車）
神奈中バス	13番	01系統・中山駅行 （岡沢町又は横浜新道下車）
鉄道		
相模鉄道	和町駅下車（徒歩20分）	
横浜市営地下鉄	三ツ沢上町駅下車（徒歩16分）	
相鉄・JR直通線	羽沢横浜国大駅下車（徒歩15分）	

● キャンパス内各図書館配置（右図）

S3-6	中央図書館
N4-1	社会科学系研究図書館（経済学部1号館2階） ※入館は学内者のみ可能（中央図書館で要手続）



横浜国立大学附属図書館概要 YNU Library Profile 2026

組織図

（2026年6月1日現在）



横浜国立大学附属図書館概要2026 2026年7月発行
国立大学法人横浜国立大学附属図書館 〒240-8501 横浜市内保土ヶ谷区常盤台79番地6号
電話 (045)339-3204 <http://www.lib.ynu.ac.jp>





一人と情報の出会いを演出する 多機能文化空間

横浜国立大学附属図書館は、中央図書館及び社会科学系研究図書館の2館からなり、快適な学習環境の提供と各種資料の収集整理を通じて、本学の教育研究活動をサポートしています。



施設・設備

中央図書館は、学生が議論しながら学習できる場所であるグループ学習エリアやワーキングスタジオをはじめ、イベント用のホール、軽飲食のできるカフェ、卒業制作等の展示に使用可能な情報ラウンジ、映像資料等視聴用のAVブースを備え、従来の図書館の枠を超えた多機能文化空間を構成しています。



蔵書・コレクション

「シャープ勧告」をまとめた米国の財政学者カール・シャープ博士旧蔵の、図書・雑誌・文書等を集めたシャープ・コレクションや、フランス革命期の政治家・経済学者・思想家として、近代ヨーロッパに巨大な足跡を残したミラボー伯の著作・演説・書簡を集めたミラボー伯コレクションなどの貴重なコレクションを含め、2館で126万冊の資料を所蔵しています。



サービス

収集した資料の閲覧・貸出・複写サービスの提供に加え、神奈川県内の公共図書館をはじめとする他機関資料の取り寄せサービスを提供しています。また、所蔵調査や事項調査をはじめとするレファレンスサービス、レポートの書き方や勉強の仕方のアドバイスを担当するラーニングアドバイザー、図書館ツアーやデータベース講習会をはじめとする情報リテラシー教育など、本学の学習・教育・研究活動のサポートを行っています。

沿革 History

- 1949.5 国立学校設置法による横浜国立大学の設置により、附属図書館が設置された。
- 1949.10 学芸学部分館（1966.4に教育学部分館に改称）、経済学部分館及び工学部分館が設置された。
- 1950.3 附属図書館規則を制定した。
- 1964.5 工学部分館が大岡地区に竣工した。
- 1972.4 横浜国立大学附属図書館運営委員会を設置した。
- 1974.6 中央図書館が常盤台地区に竣工（RC4F 3,957㎡）した。経済学部分館が経済学部研究棟内に竣工（RC2F 1,290㎡）した。
- 1974 本館、教育学部分館及び経済学部分館が常盤台地区に移転した。
- 1974.9 本館、教育学部分館及び経済学部分館が常盤台地区に移転した。
- 1976.4 附属図書館規則の全面改正に伴い、各分館を廃止。教育分室、経済・経営分室及び工学分室を設置した。
- 1979.3 工学分室が常盤台地区に竣工（1,930㎡）した。
- 1981.4 附属図書館規程を一部改正し、従来の中央図書館及び各分室を、中央図書館（教育学・人文科学研究フロアを含む。）、社会科学系研究図書館及び理工学研究図書館に改めた。
- 1985.7 中央図書館2号館増築工事（3,492㎡）が竣工した。
- 2000.3 「附属図書館のトータルデザインに関する調査研究プロジェクト」（平成11年度実施）報告書を学長に提出した。
- 2000.11 「横浜国立大学中央図書館施設基本計画」を策定した。
- 2001.6 中央図書館新営・改修工事が着工された。
- 2002.11 中央図書館新営・改修工事が竣工（12,231㎡）した。
- 2003.4 中央図書館がリニューアルオープンした。
- 2006.11 （社会科学系）総合研究棟Ⅰの改修に伴う社会科学系研究図書館の改修工事が着工された。
- 2007.4 社会科学系研究図書館がリニューアルオープンした。
- 2008.3 中央図書館のメインカウンターのレイアウトを変更し、エントランスのイメージを刷新した。
- 2013.11 中央図書館2階にグループ学習エリア（ラーニングcommons）を設置した。
- 2014.3 中央図書館2階のグループ学習エリアの拡充、3階ワーキングスタジオの増設、理工学系研究図書館1階の語学学習室の設置を行った。
- 2015.12 理工学系研究図書館2階の研究個室が運用開始した。
- 2019.2 中央図書館2階のグループ学習エリアを拡充した。
- 2020.3 旧6教室をアクティブラーニング教室へ模様替えした。
- 2021.3 2階吹き抜け下にパーソナルワークスペースを整備した。
- 2025.3 理工学系研究図書館を中央図書館及び社会科学系研究図書館に機能移転した。

2025年度のトピックス

飲食ルールの変更

2025年12月から飲食ルール見直しの試行を開始し、利用状況を踏まえて2026年2月から正式運用となりました。この見直しの一環として、これまで2階のゲート入館後は食べ物を一律禁止としていましたが、現在は2階リフレッシュルームで軽食が可能となり、あわせて1階ではカフェ購入品以外の飲食も可能になりました。

附属図書館の飲食ルール Drink & Food Policy in the Library				
飲み物 / Beverages	食べ物 / Food			
お茶 / Tea	お菓子 / Snacks	軽食 / Light Food	カフェ / Cafe	その他 / Others
リフレッシュルーム Refresh Room	×	○	○	×
その他のエリア Other Areas	×	×	×	×

「横浜国立大学附属図書館再整備プラン」の作成

7月以降、国の政策や審議会関係資料、当館利用者の声、他機関の先進事例、「横浜国立大学附属図書館ビジョン」を踏まえ、当課の常勤職員全員で本学の研究・教育・学習を支える機能・空間・サービスのあり方を見直し、課題や改善案を整理・集約するとともに、今後の方向性について共通認識を形成しました。また、検討過程を通じて俯瞰的思考や、合意形成に関するスキル向上が図られたほか、実行可能な改善策を順次実行し、業務・サービス改善への意識醸成にもつながりました。本再整備プランは第5回附属図書館運営委員会で承認のうえ3月に学内公開しました。



統計 Data

床面積 (㎡)	13,406		
閲覧座席数	1,504		
図書館利用者用端末台数	7		
図書所蔵冊数	1,265,687	雑誌所蔵種類数	19,190
電子ブック利用可能種類数	73,148	電子ジャーナル利用可能種類数	14,968
リポジトリ登録数	14,528	リポジトリダウンロード数	1,368,112
入館者数	469,074		
貸出冊数	42,129		
ガイダンス参加者数	1,007		

床面積、閲覧座席数、図書館利用者端末台数は2026年5月1日現在
その他は2026年3月31日現在または2025年度実績